

(第四面)

完了・北九州様式その1-1 (一般建築物)

	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果
敷地の形状、高さ、衛生および安全	・敷地	・高さ、形状、寸法 ・道路との接続の状況	・配置図 ・ ()	・無 ・ ()	・実測 ・ ()	・適
	・面積形状等	・面積、形状、建物の配置	・配置図 ・矩計図	・無 ・ ()	・実測 ・ ()	・適
	・擁壁	・設置状況	・配置図 ・構造詳細図	・無 ・ ()	・実測 ・ ()	・適
	・避難通路	・敷地内の避難通路の確保 ・路地状部分の幅員 ・非常用進入口へのアプローチ	・配置図 ・ ()	・無 ・ ()	・実測 ・ ()	・適
	・配水管	・管径、形状	・配置図	・無	・実測	・適
	・排水溝	・設置状況	・ ()	・無	・実測	・適
	・支持地盤	・種類 () ・地耐力 (kN/m ²)	・構造詳細図 ・構造計算書	・無 ・ ()	・実測 ・試験書等 ・工程完了時に現場で確認 ・杭打設時立会い ・施工記録書類の確認	・適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法	・杭材料	・工法(打ち込み杭) ・種類(規格)、品質、径、長さ ・支持力	・構造詳細図 ・ () ・ ()	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・鋼材(鉄筋以外)	・種類、規格、表面仕上げ、形状、寸法 ・圧縮材の有効細長比	・構造詳細図 ・構造計算書 ・各階床伏図 ・小屋伏図	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・床材	・種類、品質、形状、寸法	・構造詳細図 ・構造計算書 ・小屋断面図	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・屋根材	・種類、品質、形状、寸法	・構造詳細図 ・構造計算書 ・小屋伏図	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・外壁材	・種類、品質、形状、寸法	・小屋伏図	・無	・試験書等	・適
	・階段室の壁材		・小屋伏図	・無	・試験書等	・適
	・天井材			・ ()		・適
	・高力ボルト	・種類、規格、形状、寸法 ・ボルト孔の径	・構造計算書	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・アカボルト	・種類、品質、形状、寸法	・構造計算書	・無	・試験書等	・適
	・ALC板(内外壁材等)	・種類、品質、形状、寸法	・構造計算書	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	・耐火被覆材	・種類、厚さ ・耐火性能の状況	・構造計算書 ・断面図	・無 ・ ()	・試験書等 ・ ()	・適
	北九州様式その2					
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等	北九州様式その2					

	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	・配置	・壁面位置 ・斜線緩和	・確認申請図書 ・（ ）	・無 ・（ ）	・実測 ・（ ）	・適
	・建築面積	・建ぺい率	・確認申請図書	・無	・実測	・適
	・延べ面積	・容積率	・（ ）	・無	・（ ）	・適
	・高さ	・絶対高さ ・道路斜線 ・隣地斜線 ・北側斜線	・確認申請図書 ・（ ）	・無 ・（ ）	・実測 ・（ ）	・適
	・床面積	・床面積の増減	・各階平面図	・無	・実測	・適
	・天井高	・天井高の確認	・断面図	・無	・実測	・適
	・遮音壁	・長屋共同住宅の界壁の遮音	・	・無	・目視	・適
	・防火区画	・防火区画、堅穴区画 ・防火界壁の位置 ・防火区画等貫通部の処理 ・防火区画における開口部	・平面図 ・矩計図 ・構造詳細図	・無 ・（ ）	・目視 ・（ ）	・適
	・異種用途区画	・異種用途の位置、構造	・平面図 ・構造詳細図 ・矩計図	・無 ・（ ）	・目視 ・（ ）	・適
	・採光	・開口面積の確保	・立面図 ・各階平面図	・無 ・（ ）	・目視 ・（ ）	・適
	・廊下	・有効幅員の確保	・各階平面図	・無	・実測	・適
	・階段	・蹴込、踏面、踊り場の寸法 ・手すりの位置 ・避難階段、特別避難階段の構造 ・屋外階段の耐久性	・断面図 ・構造詳細図 ・構造計算書	・無 ・（ ）	・実測 ・（ ）	・適
・屋上広場 バルコニー	・手すりの寸法、形状等 ・落下防止措置	・平面図 ・断面図	・無 ・（ ）	・目視、実測 ・（ ）	・適	
構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況	北九州様式その2					
特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況	・天井	・耐震性等を考慮した天井の仕様	・確認申請図書 ・（ ）	・無 ・（ ）	・実測 ・（ ）	・適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種類及び厚さ	・天井	・仕上げ材の種類 ・仕上げ状況	・断面図 ・室内仕上げ表	・無 ・（ ）	・証明書等 ・（ ）	・適
	・壁	・仕上げ材の種類 ・仕上げ状況	・室内仕上げ表	・無 ・（ ）	・証明書等 ・（ ）	・適
	・内装制限	・内装材料、仕上げの確認 ・防火材料表示の有無	・室内仕上げ表	・無 ・（ ）	・証明書等 ・（ ）	・適
開口部に設ける建具の種類及び大きさ	・採光	・開口面積の確保	・立面図 ・各階平面図	・無 ・（ ）	・目視、実測 ・（ ）	・適
	・防火戸	・防火戸の設置状況（シャッター機能の確認） ・閉鎖機能の確認 ・開閉方向の確認 ・錠カギの開閉方向 ・防火戸の種類（認定番号の確認） ・形状寸法	・各階平面図 ・構造詳細図 ・断面図	・無 ・（ ）	・目視、実測 ・証明書等 ・（ ）	・適
	・出入口	・開口寸法 ・開閉方向の確認	・各階平面図	・無 ・（ ）	・目視、実測 ・（ ）	・適
	・非常用進入口	・進入口の寸法、位置 ・進入口周囲の状況 ・標識の表示及びその電源	・各階平面図 ・断面図	・無 ・（ ）	・目視、実測 ・（ ）	・適

	確認を行った 部位、材料の種類 等	照合内容	照合を行った 設計図書	設計図書の内容に ついて設計者に確 認した事項	照合方法	照合結果
建築設備に用 いる材料の種 類及びその照 合した内容並 びに当該建築 材料の構造及 び施工状況(区 画貫通部の処 理状況を含む)	・給水設備 (給水カク含む)	・種類、形状、寸法 ・有資格指定業者の施工 ・設置状況	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・排水設備	・種類、形状、寸法 ・設置、連結状況 ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・機械換気設備 (空気調和設備 を含む)	・形状、寸法、規格 ・機器の性能 (換気風量) ・設置、施工後試験	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・浄化槽設備	・形状、寸法 ・型式番号 (第)号 ・設置状況 ・漏水試験 ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図 ・配置図 ・し尿浄化槽の 見取り図	・無 ・()	・()	・適
	・昇降機	・用途、寸法、規格、荷重 ・安全装置の状況 ・設置、施工後検査	・構造詳細図 ・構造計算書	・無 ・()	・()	・適
	・電気設備	・形状、寸法、規格 ・設置、施工後検査 ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・ガス設備等	・形状、寸法、規格 ・機器の性能 ・設置、施工後検査 (給排気・煙突) ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・消火設備	・消火方式 ・形状、寸法、規格 ・機器の性能 ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・機械排煙設備	・形状、寸法、規格 ・排煙口、風洞の状況 ・防煙壁の位置、形状、寸法 ・設置、施工後試験	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・照明設備 (非常用照明 含む)	・形状、寸法、規格 ・設置、施工後照度試験 ・有資格指定業者の施工	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適
	・避雷設備	・形状、寸法、規格 ・設置状況 ・安全装置の状況 ・機器の性能 (接地抵抗 Ω)	・構造詳細図	・無 ・()	・()	・適

(注) 中間検査合格証交付済みの部位は省略できる

(注) 第四面については、工事監理者が記入すること。ただし、法第5条の4(工事監理者を定めなくてよい規模・構造の工事)により工事監理者がいない場合は工事施工者が記入すること。

(注) 構造詳細図は各階平面図を含む

(注) 消火方式の()内は設備名称を記入

(注) 有資格指定業者とは、別添の区分の業者とする

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

- ① 申請者又は工事監理者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 「検査を申請する建築物等」の欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築基準法第88条第1項に規定する工作物のうち同法施行令第138条第2項第1号に掲げるものにあつては、「工作物(昇降機)」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ ※印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

- ① 建築主、設置者又は築造主が2以上のときは、1欄は代表となる建築主、設置者又は築造主について記入し、別紙に他の建築主、設置者又は築造主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ② 建築主、設置者又は築造主からの委任を受けて申請を行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- ③ 2欄、3欄及び5欄は、代理者、設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ代理者、設計者又は工事監理者の住所を書いてください。
- ④ 3欄、4欄及び5欄は、それぞれ代表となる設計者、工事監理者及び建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者並びに申請に係る建築物に係る他のすべての設計者、工事監理者及び建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者について記入してください。記入欄が不足する場合には、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ⑤ 5欄は、建築士法第20条第5項に規定する場合(工事監理に係る場合に限る。)に、同項に定める資格を有する者について記入し、所在地は、その者が勤務しているときは勤務先の所在地を、勤務していないときはその者の住所を、登録番号は建築士法施行規則(昭和25年建設省令第38号)第17条の35第1項の規定による登録を受けている場合の当該登録番号を書いてください。
- ⑥ 6欄は、工事施工者が2以上のときは、代表となる工事施工者について記入し、別紙に他の工事施工者について棟別にそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ⑦ 建築物又は工作物の名称又は工事名が定まっているときは、7欄に記入してください。

4. 第三面関係

- ① 住居表示が定まっているときは、1欄の「ロ」に記入してください。
- ② 2欄の「イ」は、建築物が建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物に該当する場合に、当該各号の数字を記入してください。
- ③ 2欄の「ロ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ④ 2欄の「ハ」は、認証型式部材等製造者が製造をした当該認証に係る型式部材等を有する場合に、その認証番号を記載してください。
- ⑤ 3欄、4欄及び5欄は、計画変更の確認を受けている場合は直前の計画変更の確認について記載してください。
- ⑥ 9欄は、記入欄が不足する場合には、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ⑦ 10欄は、軽微な設計変更が2以上あるときは、その一について記入し、別紙にその他の軽微な設計変更について、必要な事項を記入して添えてください。
- ⑧ 10欄の「ロ」は、変更の内容、変更の理由等の概要を記入してください。
- ⑨ 10欄は、特定工程に係る建築物にあつては、この申請を直前の中間検査を申請した建築主事に対して行う場合には、確認から直前の中間検査までに生じた軽微な設計変更の概要について記入する必要はありません。また、それ以外の場合で、確認から直前の中間検査までに生じた軽微な設計変更の概要についてこの欄に記載すべき事項を記載した書類を別に添付すれば、その部分について記入する必要はありません。
- ⑩ 10欄は、申請建築物について変更後も建築物の計画が建築基準関係規定に適合することが明らかになることが確かめられた旨の図書を添えてください。

- ⑪ 検査後も引き続き建築基準法第3条第2項（同法第86条の9第1項において準用する場合を含む。）の規定の適用を受ける場合は、その根拠となる規定及び不適合の規定を11欄又は別紙に記載して添えてください。

5. 第四面関係

- ① 申請建築物（建築基準法第7条の5及び第68条の20第2項（建築物である認証型式部材等に係る場合に限る。）の適用を受けず、かつ、建築士法第3条から第3条の3までの規定に含まれないものを除く。以下同じ。）に関する工事監理の状況について記載してください。ただし、特定工程に係る建築物にあつては、この申請を直前の中間検査を申請した建築主事に対して行う場合には、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況について記入する必要はありません。また、それ以外の場合で、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況についてこの書類に記載すべき事項を記載した書類を別に添付すれば、その部分について記入する必要はありません。
- ② 申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載してください。
- ③ 接合状況のうち、鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度検査等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果を記載してください。
- ④ 材料のうち、コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査（以下「試験等」という。）を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。
- ⑤ 「特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況」は、建築基準法施行令第39条第3項、第81条第1項第3号、第82条の5第7号又は第137条の2第1号イ(3)の規定の適用を受ける部分について記載してください。
- ⑥ 「居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種別及び当該建築材料を用いる部分の面積」は、建築基準法施行令第20条の7第1項第1号に規定する内装の仕上げに用いる建築材料の種別並びに当該建築材料を用いる内装の仕上げの部分及び当該部分の面積について記載してください。
- ⑦ 「天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げ」は、建築基準法第35条の2の規定の適用を受ける部分について記載してください。
- ⑧ 「開口部」は、防火設備の設置が義務付けられている部分、建築基準法第28条第1項の規定の適用を受ける部分及び同法第35条の適用を受ける部分について記載してください。
- ⑨ 「照合結果」は、「適」・「不適」のいずれかを記入し、工事施工者が注意に従わなかった場合には「不適」を記入してください。また、不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載してください。
- ⑩ 消防法（昭和23年法律第186号）第9条の2第1項に規定する住宅用防災機器の位置及び種類その他ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、備考欄又は別紙に記載して添えてください。
- ⑪ この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。